

「署名用紙50枚届けて」

島根県出雲市の「いずも教育・9条の会」は戦争法廃止の2000万署名を呼びかける担い手も広げ、力を合わせて取り組んでいます。

(島根県 桑原保夫)

広げよう
2000万署名

島根 いずも教育・9条の会

高校非常勤講師の岡田誠吉(63)は担い手の一人です。地域を回って署名を集める一方、友人・知人に署名用紙と切手を貼った返信用封筒に「立憲主義や民主主義を壊し、平和主義を葬り去ろうとする安倍政権の暴走にストップ

プをかける必要がある」などの文書を同封して送り、協力を呼びかけました。これまで40人に送り、13人が送り返してくれました。うち4割の人は署名欄を埋めてくれ、「自分もそいう活動をしなれば」「頭が下がる」

「並々ならぬあなたの決意を感じた」「用紙をもう一枚送って」などと励ましてくれました。

2006年の会結成時からの世話人で、元高校教師の男性(78)は「60年安保の時と違い、戦争法反対の運動に市



「私も活動」広がる担い手

民一人ひとりが立ち上がって「安倍政権は日本の軍事化を国是としていく方向です。戦争法で日本は非常に危険な分かれ道にある」と署名への協力を訴えています。同世代や女性からは共通して「戦争は二度と繰り返してはいけない」との声が寄せられています。



宣伝する、いずも教育・9条の会の人たち。6日、出雲市

会の事務局を務める元高校教師の嵐和義さん(72)は、毎月の世話人会や平和関連の学習会、「戦争する国づくりは許さない出雲の会」との定例宣伝の中で会員と署名の担い手が増えているといいます。

元会社員で世話人の男性(85)は「これは私の仕事です」と365人分の署名を届けてくれ、世話人也会も励まされています。

嵐さんが、高校の元校長に署名用紙を5枚渡して協力をお願いしたところ、「もっとほしい」と歓迎されました。後日、電話すると「50枚届けてほしい」と話してくれました。

9日現在、署名は997人分に上ります。

嵐さんは「これまでずっと9条を守れと活動をしてきました。戦争できる国など想像もしていませんでした。教え子や8人の孫たちが戦場に引っ張り出されるような世の中は絶対許されたい。2000人はどうしても超えたい。頑張ります」と話します。

2/14 5期